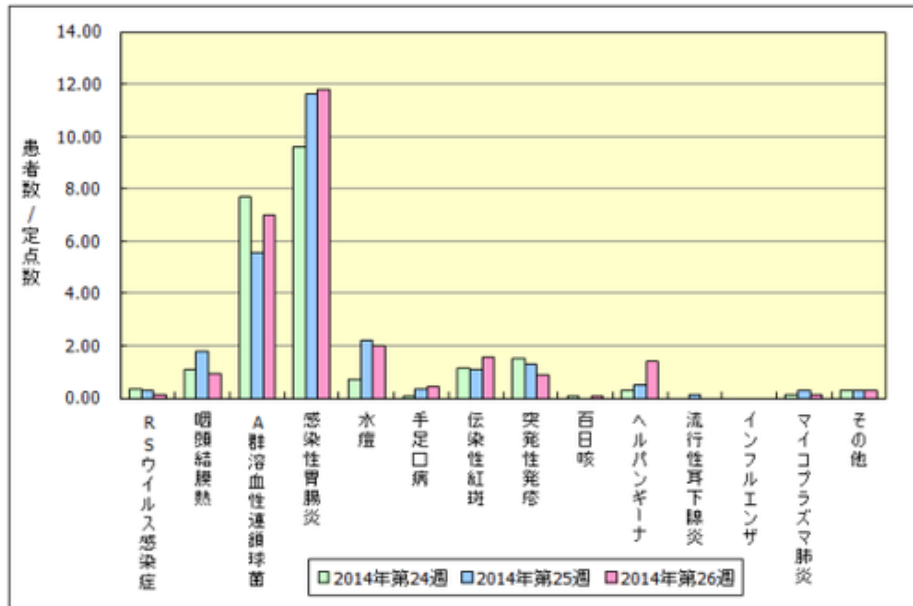


第26週(6月23日～6月29日)の集計結果

コメント

【今週の傾向】

○感染性胃腸炎が、先週に引き続き11.8と高く、特に中央北部に多くみられています。
引き続き丁寧な手洗いと、嘔吐物やふん便処理には次亜塩素酸ナトリウムを使用して、適切に処理しまし
ょう。
特に保育施設や高齢者施設では集団感染になりやすいので、注意しましょう。



第26週疾患毎発生状況グラフ

	2014年 第21週	2014年 第22週	2014年 第23週	2014年 第24週	2014年 第25週	2014年 第26週	中央北 部	西部	東南部	みなみ 野
RSウイルス感染症	0 ↓	2 ↑	5 ↑	5 →	4 ↓	2 ↓	0	0	2	0
咽頭結膜熱	19 ↑	15 ↓	14 ↓	15 ↑	25 ↑	13 ↓	0	5	4	4
A群溶血性連鎖球菌	89 ↑	84 ↓	81 ↓	108 ↑	78 ↓	98 ↑	37	23	29	9
感染性胃腸炎	160 ↓	158 ↓	178 ↑	135 ↓	163 ↑	165 ↑	68	34	48	15
水痘	42 ↑	15 ↓	35 ↑	10 ↓	31 ↑	28 ↓	11	12	2	3
手足口病	13 ↑	7 ↓	2 ↓	1 ↓	5 ↑	6 ↑	2	1	2	1
伝染性紅斑	7 ↑	15 ↑	10 ↓	16 ↑	15 ↓	22 ↑	1	7	3	11
突発性発疹	6 ↑	16 ↑	18 ↑	21 ↑	18 ↓	12 ↓	1	2	5	4
百日咳	0 →	0 →	0 →	1 ↑	0 ↓	1 ↑	0	1	0	0
ヘルパンギーナ	2 →	3 ↑	3 →	4 ↑	7 ↑	20 ↑	9	2	5	4
流行性耳下腺炎	1 ↓	2 ↑	5 ↑	0 ↓	2 ↑	0 ↓	0	0	0	0
インフルエンザ	6 ↓	4 ↓	1 ↓	0 ↓	0 →	0 →	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	1 ↓	0 ↓	2 ↑	2 →	4 ↑	2 ↓	0	0	0	2
その他	3 ↓	3 →	4 ↑	4 →	4 →	4 →	0	0	4	0

第26週疾患毎発生状況表

第26週	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	マイコプラズマ肺炎	その他
～5ヶ月	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～11ヶ月	1	1	0	17	0	0	0	2	0	4	0	0	0	1
1歳	0	3	6	15	2	1	1	6	0	5	0	0	0	1
2歳	0	3	11	13	3	1	1	2	0	2	0	0	0	0
3歳	1	2	10	23	2	2	0	2	0	2	0	0	0	0
4歳	0	2	8	14	3	0	4	0	0	5	0	0	1	2
5歳	0	1	23	15	5	0	8	0	0	1	0	0	0	0
6歳	0	0	11	17	9	0	2	0	0	1	0	0	0	0
7歳	0	0	6	11	4	2	4	0	0	0	0	0	0	0
8歳	0	0	2	7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
9歳	0	0	5	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14歳	0	0	15	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10～12歳												0		
13～14歳												0		
15～19歳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳以上	0	1	1	11	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0
合計	2	13	98	165	28	6	22	12	1	20	0	0	2	4

第26週年齢別発生状況表

地区ブロックの分け方

- ・ 中央・北部
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- ・ 西部
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- ・ 東南部
由木東事務所、南大沢事務所管内
- ・ みなみ野
由井事務所